授業概要

臨床心理学は、心理的な悩みや問題の解決と幸せな生活を送るための援助を行えるように、カウンセリングや心理療法などに関する知見を集めた学問です。援助・相談を行うための基本的なカウンセリングの知識と技術を学び、子どもの発達を適切に支援するための基礎力を高めることが本授業の目的です。

本授業では、臨床心理学とその隣接領域およびカウンセリングの理論と技法を概観し、同時にカウンセリングの実践方法について体験的に学びます。カウンセリングを学ぶことによって、子どもへの援助力だけでなく、自己理解を深め、他者への共感や自身の生きる力を養うきっかけにしてほしいと考えています。

授業計画

第1回	発達臨床心理学とは：人間理解と援助を考える
第2回	カウンセリング概論（1）
第3回	カウンセリング概論（2）
第4回	SGE と基礎的エクササイズ
第5回	ピアヘルピングの関係領域
第6回	カウンセリングに求められる基本的な技法
第7回	カウンセリングの実際（来談者中心療法）
第8回	カウンセリングの実際（行動理論的アプローチ）
第9回	カウンセリングの実際（家族療法とシステム理論）
第10回	カウンセリングの実際（集団へのアプローチ）
第11回	ヘルピングのプロセス：非言語的技法
第12回	ヘルピングのプロセス：言語的技法
第13回	対話上の諸問題への対処法
第14回	問題への対処法
第15回	ピアヘルピングを考える
第16回	総まとめ（定期試験）

到達目標

臨床心理学とその隣接領域およびカウンセリングの基本的な知識と理論を習得する
 様々なカウンセリングの技術を体験的に学び、援助・相談に乗るための基礎技能を習得する

履修上の注意

※本授業は日本教育カウンセラー協会認定資格である「ピアヘルパー」の受験に必要な一科目としての性格をもっています。

原則20分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻は3回で1回の欠席とします。5回以上の欠席は、成績評価の対象外とします。

小課題やディスカッション・ロールプレイ課題などを適宜行います。

予習復習

復習を中心にしてください。授業の復習を身に着けるように心がけてほしいです。

評価方法

授業態度・参加度（20%）、小レポートやペーパー提出（30%）、定期試験（50%）、これらを踏まえての総合評価

テキスト

ピアヘルパー標準テキストとしては以下の通り。

日本教育カウンセラー協会編 2001 ピアヘルパー・ハンドブック 図書文化社

日本教育カウンセラー協会編 2002 ピアヘルパー・ワークブック 図書文化社

いずれも 1500 円＋税

その他適宜紹介します。